

2010年度 修士論文（研究調査）中間発表会の実施

2010年11月19日（金）、大学院棟1212教室において、大学院博士前期課程の中間発表会が行われました。修士論文（研究調査）を提出する予定の大学院生が多くの教員、大学院生の前で報告を行いました。発表会では、報告についての質問、コメント、それらへの回答と活発な議論が行われました。

報告論文についてのコメントを参考に、1月の提出に向けて院生はさらに改善を重ね、論文を作成します。

報告者	論文タイトル（仮）
伊藤 雅子	「医療崩壊とは何か - ステークホルダー間のパーセプションギャップの解明 -」
飛鳥 由美子	「所得税法における人的控除についての研究」
高山 貢	「青森県の産業構造の変化と景気動向指数に見る景気変動パターン」

（当日の写真）

